

# 熊本矯正歯科研究会

## NEWS LETTER

平成 28 年度 (春季)

事務局:きょうこく矯正歯科・小児歯科クリニック  
〒862-0963 熊本市南区出仲間  
TEL 096-334-6055 FAX 096-334-6057  
E-Mail kyougoku@sc.kcn-tv.ne.jp



熊本矯正歯科研究会講演会 (H27.10.24 アークホテル熊本)

### 熊本矯正歯科研究会によせて



本年(2016年)4月より、本会会長職を仰せつかった山部耕一郎です。

前身である西日本歯科矯正学会熊本支部を経て、平成18年より新しく熊本矯正歯科研究会となり、初代会長である池上富雄先生、それから伊東隆三先生と引き継がれ、会員の増加と共に大きな屋台となった本会を、この度引き継ぐことになりました。一層身の引き締まる思いです。京極和彦先生を事務局として、新執行部一同、より良い矯正歯科治療を提供するためのお手伝い出来るよう、会員に情報を提供して参りたいと思います。

ところで、この度「熊本地震」という大災害に見舞われ、熊本のみならず大分にも甚大な被害が生じました。まだ余震も収まらない状況です。

会員の先生方、また矯正治療中の患者様にも大きな被害をこうむった方が多数いらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

また実は来年(2017年)2月に、第12回九州矯正歯科学会大会が熊本で開催される予定でしたが、この地震の影響で開催を見送らせていただくこととなりました。急遽、宮崎県が今回の分を引き受けてくれることになり、熊本は多分、第15回に振り返られることになりそうです。それは2020年であり、オリンピック開催の年でもあります。本会としても、地元熊本開催ということもあり、一層協力していきたいと考えていますので、会員の先生方におかれましてはよろしくお願い致します。

今後とも熊本矯正歯科研究会の発展につきまして、よろしくお願い致します。

## 平成 28 年度新執行部

- 会長：山部耕一郎
- 副会長：山本資晴、犬童寛治
- 事務局：京極和彦
- 会計：太田文隆
- 学術：池上富雄・久永 豊
- 運営：分山英次
- 広報：上村裕希・河野賢二
- ホームページ：近藤俊輔

以上、理事

- 監事：伊東泰蔵、木村浩幸

## 平成 27 年度後期の主な活動

### ○ 第 10～13 回常任役員会

毎月一回のペースで常任理事による役員会、2015 年 8 月 17 日に第 10 回理事会、9 月 14 日に第 11 回理事会、10 月 13 日に第 12 回理事会、2016 年 1 月 18 日に常任役員会を行いました。

### ○ 平成 27 年度臨時総会(2015 年 10 月 24 日)

アークホテル熊本にて、平成 27 年度臨時総会を開催し、16 名の先生（委任状 36 名）にご参加いただきました。議長（渡辺猛士先生）、議事録署名人（向江富士夫先生、出来田悌吾先生）選出後、次期会長および次期監事選出のため臨時総会が行われました。

#### 1) 報告事項

- ・ 毎月 1 回常任役員会を行っております。
- ・ 現在の会員数は 94 名（平成 27 年度臨時総会時）です。
- ・ 第 12 回九州矯正歯科学会学術大会熊本大会が、平成 29 年 2 月 11 日（土）、12 日（日）に熊本市民会館で開催予定です。
- ・ 熊本市歯会主催の「2015 歯の祭典」（6 月 7 日 ウェルパルクまもと）に本会より矯正歯科相談に 9 名が出務しました。
- ・ 現在年 2 回ニュースレターを発行しています。記載したいものがあれば、いつでもご連絡下さい。
- ・ 本日の時点で 93 名中 67 名の先生から会費納入を確認しております。

#### 2) 審議事項 次期会長選出

- ・ 次期（任期；平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月）会長選出について（若江選挙管理委員会委員長から報告）  
2015 年 9 月 8 日に次期会長および監事選挙に関する公示を行い、会長候補 山部耕一郎 先生（推薦者：分山英次先生）、幹事候補 木村浩幸先生（推薦者：伊東隆三先生）、伊東泰蔵先生（推薦者：井原功一郎先生）の会長 1 名、監事 2 名の立候補がありました。10 月 9 日に選挙管理委員会にて認定、本会で会長 1 名、監事 2 名について全員一致で承認された。

#### 3) 新会長挨拶

西日本歯科矯正学会熊本支部より続く伝統あるこの会の会長を受けることになりました。自分なりにやれる範囲で一生懸命やっっていこうと思っております。伊東先生が 6 年かけて大きくしてきたこの会を盛り上げていこうと考えています。とりあえず、間近に迫っている九橋熊本大会に向けて頑張りたいと思っています。

#### 4) 協議事項

##### 1) 新執行部への事務引継の件：鬼木泰久理事

2016 年 2 月から新執行部で会運営を行っていく

##### 2) 九州矯正歯科学会熊本大会準備金貸出について：太田文隆理事

九州矯正歯科学会熊本大会にて、九橋本部から 2 月の前大会福岡大会の決算が終了した後（2016 年 4 月以降）、熊本大会の準備金が

支給されるが、事務手続きや会場使用費などの準備金を一時的に熊矯から貸出する必要がある。これについて、全員一致で承認された。



平成 27 年度熊本矯正歯科研究会臨時総会

### ○ 平成27年度 秋の講演会・忘年会

総会に引き続き、講演会と忘年会が行われました。

**特別講演 「多数歯欠損を認めた症例を通して」 九州歯科大学歯学部 顎口腔機能矯正学分野教授 川元龍夫 先生**



川元龍夫先生、大変お忙しい中、とても貴重なご講演をしていただき、誠にありがとうございました。

### 懇親会スナップ





## 今後の予定とお知らせ

- ・ 平成 28 年 7 月 9 日（土）にアークホテル熊本で平成 28 年度熊本矯正研究会総会・講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお願い合わせの上ぜひご参加ください。



### 講演会抄録

講演「失敗を失敗で終わらせないために Do not end failure by failure」

（医） 歯科一番町・SAS 矯正歯科センター主任 コネチカット大学客員臨床教授 菅原準二 先生

「It's fine to celebrate success, but it is more important to heed the lessons of failure」とはビル・ゲイツの言葉である。まさしく、成功例よりも失敗例から多くのことを学べることは、あらゆる分野に共通して言えることである。失敗例はクローゼット・ケースとも称されるように、学会などで論議の対象となることは極めて稀であり、それを話題にすることはむしろタブー視されてきた。ところが、近年、口腔内に絶対的な固定源を設けて、大白歯を含むすべての歯を予知的に移動することが可能なインプラント矯正 (TADs) が実用化されたことに伴い、それまで対応がきわめて困難であった失敗症例を失敗で終わらせず、確実に救済できるようになった。そのことによって、ようやく矯正歯科においても失敗例を俎上に乗せて論議することが許される時代になったように思われる。

今回の講演においては、自分自身の事例も含め、近年経験した失敗例（再治療例）を供覧するとともに、それらから得られた教訓について述べてみたい。

（編集；広報担当理事 上村裕希）

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

会費未納の会員の先生方は早急に納入くださるようお願い致します。

熊本矯正研究会のホームページリニューアル中です。ニュースレターはホームページからもご覧できます。